並木幼稚園だより

[建学の精神] 感性の豊かな「日本の心」を 持った真の国際人の育成

令和2年 4月号 学校法人志賀学園並木幼稚園 発行者:園長 渡部栄城

予想もしなかった新型コロナウィルスの猛威により、オリンピックをはじめ様々なことが延期になったり中止になったり制限されたりと、ほんの2か月前までは想像できなかったことが現実として私たちの生活に影響を及ぼすようになってしまいました。

信じられないような出来事が、9年前にも起こりました。東日本大震災です。約10年の間に、2度も信じられないような出来事が起こったのでした。他にも、台風で家を流されたり、異常気象で農作物が収穫できなかったりと当事者にとっては信じられないことが、ときどき起こっています。だから、 しかし、

約46億年前の地球の誕生に始まり、今現在、地球上で生物のピラミッドの頂点に立つ人類は、 これまでも、実に多くの困難を生き延びてきたという歴史・事実を見つめ直すならば、人類の強さ に希望を託したい。

新年度のスタートですが、新型コロナウィルスの感染が広まった昨年度末からのことを少しお知らせします。卒園式は、来賓招待はなく、保護者の式への出席は各家庭1名とし、式の内容も精選し、短時間で終えられるようにしました。入園式は、来賓招待はなく、式の内容を精選し、短時間で行えるようにし、1回で行うところを3回に分けて行い密集を回避しました。

本年度の園生活、行事等は、新型コロナウィルスの感染防止を考慮し行っていきます。防止策としては、国からも提唱されている「3つの密」すなわち「密集、密着、密閉」を極力回避するようにしたいと思います。そのために、何かとご不便をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、新年度です。新年度には紹介したい詩があります。左下のものです。本年度は、さらに紹介したい言葉があります。右下のものです。何かのお力になれれば幸いです。

もし君がときに、

落胆することがあったら、

この男のことを考えてごらん。

小学校を中退した。

田舎の雑貨屋を営んだ。そして破産。

借金を返すのに15年かかった。

妻をめとったが、不幸な結婚だった。

下院に立候補して2回落選。

上院に立候補するが2回落選。

歴史の残る演説をぶったが

だれも無関心。

新聞にはたたかれ、

国の半分からは嫌われた。

こんな有様にもかかわらず

想像してほしい。

世界中のいたるところの

どんなに多くの人々が、

この不器用、ぶさいくな、

むっつり者に啓発されたことかを。

その男は自分の名前を、

いとも簡単にサインしていた。

A・リンカーンと。

◇学生社刊『アメリカの心』より

東田直樹(ひがしだ なおき)さんの言葉です。 まずは、ウィキペディアから。

東田さんは1992年生まれで、3歳の時に自分が何処か人と違うと思うようになる。結果として、重度の自閉症と診断を受ける。言葉を発して会話を行うことが困難である。そのため、基本的に母親が作成した文字盤のポインティングや筆談を用いてコミュニケーションを行っている。

私が東田さんを知ったのは、数年前に放映された NHKのドキュメンタリー番組でした。2度放映されました。

第1回目の続きを制作するようになったのは、第1回制作のNHKのディレクターが、癌(がん)になったことが大きな理由でした。自ら障がいをもって、一時、死を覚悟して(ディレクターは手術をして現在は大丈夫とのことでした)、改めて、東田さんに教えをこいたかったのでした。番組の冒頭でそれが紹介されました。

ディレクターが、東田さんに、一番教えてもらいたかったことを、尋ねました。

「僕の人生にとって、前を向いて生きるために、大切なことを教えて欲しい」

直樹さんは、じっと考えていて 約10秒後

"人は どんな困難を かかえていても 幸せを見つけ 生きることができる"

令和2年度の本園の教育方針は次のとおりです。

❖こどもたちをたくさん喜ばそう❖

- 1 こども第一主義 (こどもの笑顔を最優先)
 - ① こどもたちひとりひとりを徹底してかわいがり、そのこどもの育ちを理解する
 - 年齢に応じた「あそび」を通して楽しい保育の提供
 - ・「躾の三原則」と立腰の継続

朝の挨拶

名前を呼ばれたら「ハイ」と返事する

履物を揃える、立ったら椅子を中に入れる

立腰

- ② こどもたちに多様な体験をさせ、感性を育てる
 - ・日本の良き伝統を伝える

日本古来の行事について、保育者自身がよく理解し、折に触れこどもに伝える 日本古来の行事について、毎月園だよりにて保護者に知らせる

③ こどもにも保護者にも安心・安全な環境を整える

教室の清掃、整理、整頓

遊具のメンテナンス

自然災害への対応

- 2 幼児期の終わりまでに(卒園する時に)育っていてほしい10の姿(共有事項)
 - 1 健康な心と体
 - 2 自立心
 - 3 協同性
 - 4 道徳性・規範意識の芽生え
 - 5 社会生活との関わり
 - 6 思考力の芽生え
 - 7 自然との関わり・生命尊重
 - 8 数量・図形、文字等への関心・感覚
 - 9 言葉による伝え合い
 - 10 豊かな感性と表現

